



## 片づけを考える

### 〇モノと向き合う時間

秋がやってきて、街が賑やかになってきましたね。服やインテリアの秋冬物、ハロウィン、クリスマスなどのイベントグッズも数多く出回る時期でもあります。

今は、SNSなどで、自分のお気に入りの品を販売先のリンクまで貼っておススメする人がとても増えてきました。また、テレビ、雑誌などでも身近に手に入る「押し(おし)」の商品をたくさん紹介しています。

モノを選ぶ時に他人のおススメ、つまり自分以外の目線で選んだモノは、同じ価値観であれば問題ないのですが、往々にして違っている場合があります。こういった自分や自分の暮らしに合っていないモノが家に入ってくると家中のモノの動きに影響します。

自分や暮らしに合わないモノは、使い勝手が悪く、程なく使わないモノになります。それが、たとえ100均モノであろうと、もったいなくて処分できなければ不要なモノへと変わっていきます。

不要なモノは多ければ多いほど、家の大切な空間が奪われていきます。そして、不要なモノに場所を取られた結果、大事なモノの定位置が足りなくなり、家の中で迷子になっていきます。

簡単にモノを買ってしまう人は、モノを家に入れる前にそのモノと向き合う時間がないのです。

モノを家に入れる前に、なぜこのモノが欲しいのか、手に入れた後、手入れを含め、ちゃんと使っていけるのかを考える時間を作ってみてください。クセをつけるといいですね。

盛り上がった欲しい気持ちを一旦止めて、モノと向き合うことをクセにしてしまうと、モノを選ぶ力がついてきます。

もちろん、今、どんなモノが話題なのか、などの情報をキャッチする力は必要です。そこから学ぶべき点も多くあります。

ですが、情報だけに頼らないで自分の性格や好み、暮らしに照らし合せ、必要か否かを判断できる能力を養う必要があります。

モノを選んでいく力は一朝一夕には身につけませんから最初は、失敗もあるでしょう。ですが、失敗からモノに対する感性も磨かれていきますから、自分を責めたりせず、少し気長に構えてモノと向き合う練習をしてみてください。

片づけはモノを出すことと入れることが両輪で動いて上手くなります。入れる時にも気を配り片づけを進めてくださいね。

お礼



お陰様で講習会開催数が300回を超えました。私にとりまして講師をすることは、何よりの勉強です。開催の場を与えてくださった各企業様、そして受講して下さった方々に感謝とともに深くお礼申し上げます。さらに努力したいと思えます。



朱夏らいふ  
森 由香 (もり ゆか)

- 整理収納コンサルタント
- 整理収納アドバイザー認定講座講師
- 企業内整理収納マネージャー
- 整理収納教育士
- ファイリングデザイナー(1級)
- 整理収納アドバイザー
- ルームスタイリスト(1級)

#### 出張セミナーのご案内

- 一般向け 「ポイントを知って始める基本の整理収納」  
「シニア世代の家の片づけ方」  
「捨てられない人の整理術」
- PTA 研修 「片づけ上手な子にする為にお母さんが知る整理収納」
- 企業研修 「5Sから考える職場の整理収納」他

〇資格取得講座<整理収納アドバイザー2級認定講座>  
ご希望日をお知らせください  
整理収納全般の内容でお受けします。  
ご予算等お気軽にご相談ください

#### モノを減らすお手伝いをします

ご自宅やご実家のモノが多くて、片づけが始まらない方にモノを減らすことをメインにした片づけのお手伝いをします。

ぜひ、モノの手放し方のコツをつかんでください。簡単な収納アドバイスも致します。(セミナー受講生徒さん、紹介の方、誕生日、母の日、父の日ギフトに使われる方、料金割引サービス致します)

※(例)通常コース 3時間 9,600円～ お急ぎコース 3時間 15,000円  
~ご相談に応じます。詳細はお問い合わせください

<朱夏らいふ>

中国の五行説では、青い春(青春)の次に来る季節は朱い夏(朱夏)です [朱夏らいふ] のネーミングには、人生の朱い夏を頑張る皆さんと暮らし、そして、自分を応援する意味が込められています

朱夏らいふからの片づけ情報をご自身の片づけにご活用ください



ameblo.jp/shukalife/



友だち追加  
検索 ID@380 hsyer



Instagram  
shuka\_life08

発行日：2022年10月1日(土) No.48

編集&発行：朱夏らいふ 森 由香

E-mail：[info@shuka-life.com](mailto:info@shuka-life.com)

H P：<https://shuka-life.com>



朱夏らいふ便り (48)





# 生徒さんのちょっといい話

ここではセミナーでの生徒さんからの話を紹介しています。

**〈さいたま市 Yさん 60代女性〉**  
 「片づけができない娘に小言を言ってきましたが、私自身がモノと向き合って生活していれば、娘も自然に片づけを学んでいくと教わり、子どもは親を見ているのだと、何かストンと心に落ちました」

**〈春日部市 Tさん 50代女性〉**  
 「講座での〈片づけが楽しみに変わってくる〉話は、信じられませんでしたが、洗面所を少し片づけただけでも、スッキリして嬉しくなって、いつかは楽しみに変わるかも、と思える様になりました」  
 未来につながる片づけを始めたおふたりに拍手です👏

## クロワッサン

**捨てる、整えて、スッキリ暮らす。**


片づけ本の一冊をしっかりと読み込んで片づけ方を学びやり方もありますが、気軽に片づけ特集号の雑誌をパラパラと読んで、自分でできそうなやり方を試してみるのもいい方法です。情報は日進月歩、新しい形の片づけ方のヒントをさらっともらえます。

クロワッサンは1年に3~4回片づけ特集号が発行されます。写真の本は片づけ特集の最新号です

クロワッサン 8/25 取り寄せできます(10/1時点で在庫あり)

ブログでも本の紹介をしています  
 朱夏と LIFE のお片づけ日記→<https://ameblo.jp/shukalife/>

本の紹介




### 講座のご案内

○資格認定講座 <整理収納アドバイザー2級認定講座>  
 10/27 11/25 12/15 9:30~16:30 春日部市民文化会館  
 ご希望日開催も可能です オンライン受講もできます

○コープカルチャー<片づけ講座>  
 毎月第2木曜日 10:30~12:00 コープカルチャー富士見  
 短期 11/19(土) 10:00~11:30 コープカルチャー春日部

○一般向け講座<片づけ上手になりましょ>  
 10/14 11/26 13:00~14:00 無印良品東武動物園駅前店

○蓮田市生涯学習講座<片づけの進め方>  
 11/16 10:00~11:30 西口行政センター

※講座の詳細は朱夏らしいの HP をご覧ください → 

## 朱夏と日和 ~ひとりごと片づけ日記~

**実家には古いピアノがある。私はそのピアノに愛着がないので、処分してもいいと思っていたが、母が処分を嫌がったのでそのままにしてある。**  
 その昔、母は、娘たちにピアノを習わせたいと漠然と思っていた。そのことを何気なく話題にしたところ、父がポンとピアノを買ってくれた。普通のサラリーマンだった父が何も言わずに母の思いを叶えてくれた、このことが母には、大切な思い出なのだ。

母の思いをよそに私に思いがないのは、ピアノが好きではないから。姉妹で通っていた教室では、妹と比べて、進みのよくない私はいつも先生に叱られていた。先生の笑顔の記憶が全くないほど。5~6年習って、やめてしまったが、ピアノと縁が切れたことでほっとした。

最近、私の講座でのつながり「ピアノが大好き」という、まりこさんと出会った。趣味だけで習い続けてきて、超絶技巧曲のラ・カンパネラまで弾いてしまう。

まりこさんは、ピアノにコンプレックスを持っている私に「自分で気持ちよく弾ければ下手なピアノはない」と言ってくれた。びっくりした。この言葉を私にさりげなく言ってくれる人がいたなんて。

そこから、『練習を始めてピアノが大好きになりました』なら美談だけど、調律していないピアノ、動きを忘れてる指、練習嫌いの私、そんな素晴らしいことは起きない。済みませんね…

でもピアノへの思いは以前とは違っている。私の苦しい思いが消え、母の幸せな思い出がグンと前に出てきた感じ。いつかこのピアノを手放す時、ちゃんと「ありがとう」を言えると思う。長い時間をかけて、ピアノが今、幸せの物語のひとつになった。まりこさん、ありがとう😊



## 整理 収納 Q & A

- Q 空き時間に片づけを始めますが、少し時間が経つと飽きてやめてしまいます。なので、いつも半端なままです。
- A モノをひとつずつ「いる？いらない？」と判断するのは、皆さんが思っている以上にとても頭が疲れる作業です。一度に長い時間をかけない様にあらかじめタイムリミットを決めておくと、負担が少なく済みます。片づけは、一回一回の時間を短くしてでも、回数を増やす方がやる気も持続し、家全体も片づいていきます。長時間片づけが必要な時は、小まめに休憩を入れ、ご褒美スイーツなどで気分転換をしながら、疲れない片づけをして下さい。

## 収納のコツ

モノは、目につく所に出したままにしておく、モノの色や不揃いの形が目立ちスッキリ感が生まれません。

あえて見せる収納にする場合以外は、モノはしまう方が、インテリアも映えます。ですが、テーブルやキッチンカウンター、玄関の下駄箱の上などモノの置きやすい所にはどうしてもモノが溜まります。

他に定位置を決めても、そこに置いてしまうのであれば、そこを正式な定位置と決め、工夫をしてスッキリ感を出すようにします。

まず、種類別に整理し、ケースなどでそれぞれ他の種類のモノと区切ります。モノは横に並べるより縦に置く方が整然と見えますから、紙類はグッズなどを利用して縦に安定させます。

置きやすい場所は秩序なくモノを置きやすいので、置くモノを厳選して、期限などにルールを決めてモノがそこに意味なく停滞しない様につけてください。

### グッズの紹介

テーブル上などに便利なグッズ

<モノを立てる>  
 (上左)ナプキンスタンド  
 (上右)デスクトップスタンド

<モノを仕切る>  
 (下)収納ケース

アクリルスタンドは⇒  
 置くと高さが出て、スッキリ感が出ます(100均)






## 「床置きをなくす」ってどういうこと?

片づけ用語では、モノの定位置が決まっていないために、とりあえず、床に置くことを「床置きする」と言いますが、この床置きが、家が片づかない原因にもなります。

「床置きをなくす」は、定位置が床にあるモノ以外は床に置かないことです。

それは、「モノに定位置を決めましょう」につながります。片づけの始め方に迷う場合は、この「床置きをなくす」を最初の目標にすると軸が決まりやりやすいです。

床置きがなくなることで、格段に掃除しやすくなるので、床置きをしないメリットは大きいです。

